

国際ロータリー第2720地区 大分東ロータリークラブ



R.I.テーマ 「世界に希望を生み出そう」 大分東RCスローガン Come together



画「初めてのデジ絵で描いた大分駅」前田 修二

2023-2024 第1回 例会 2023.7.6 No.2786 ガバナー 膳所 和彦 修二 長 前田 会 純也 事 佐藤 幹

本日のプログラム(7月6日)

◎12:30

1. 開会並びに点鐘

2. 国歌並びにロータリーソング斉唱「奉仕の理想」

会 食

3. ゲスト・ビジターの紹介 前田 修二 会長

4. 会長の時間 前田 修二 会長

5. 幹事報告 佐藤 純也 幹事 6. 出席報告 川崎 栄一 出席委員長

7. 委員会報告

8. ニコボックス 竹内 崇 親睦委員長

9. 今週のお祝い

<創立記念日>

原野 尚会員 (株)ドコモCS九州 7月1日 中前 喜裕会員 SMBC日興証券(株) 7月7日 松本 定重会員 明治安田生命(相 7月9日

<パートナー誕生日>

小嶋 一範会員 あけみ夫人 7月7日 松本 定重会員 有紀子夫人 7月8日

<会員誕生日>

挾間 直己会員 7月3日

◎13:00

10. 例会企画

前田会長・佐藤幹事 就任の挨拶

第39回(6月22日)例 会 記 録

岩崎 哲朗会員の卓話 「大分東RCの魅力 ~職業奉仕の理念について~」

・出席報告

会総34条員名	6月22日(前回)				6月8日 出席率
	出席会員数	出席率	ゲスト	ビジター	(修正)
	24名	88.89%	1名	2名	96%

次回の例会(第2回7月13日)

阿部会員の卓話

会長の時間 (令和5年6月22日)

日曜日、城内会員の御厚意で日出町豊岡地区の山に登る事ができました。本田町長を筆頭に豊岡会の方々と、八津島神社を出発。殿様道―山田湧水――目城石切り場跡を経由して、七ツ山山頂にて昼食。西鹿鳴越古道(ザビエルの道)を経て、経塚山山頂ではミヤマキリシマをバックに記念撮影を行いました。鹿鳴越連山は日本山岳遺産に認定されたせいか、休日には登山客が増えているそうです。登山口の近くには、豊後の三賢人の一人、日出町が生んだ江戸後期の儒学者、帆足万里の私塾西崎精舎の遺構があるそうで、大変興味

会長 菅 雅幸

があります。多くの門弟が育っていますが、中津藩で講義をしていた際には、福沢諭吉の父、百助も習ったそうなので、明治維新に活躍した志士に強く影響をもたらした人であると言えます。三浦梅園、広瀬淡窓に比べれば、評価が今一つ低いように思いますが、今後、クローズアップされていくことを期待しています。八津島神社にて10月10日に行われる辻間楽、津嶋神楽に合わせて、次回は訪れてみたいと思います。皆様もご検討ください。

ニコニコボックス

●菅 雅幸会長(5口)

本日をもって私が担当します会長の時間は終了です。例会回数40回、会長の時間の原稿は今回を含めて39回となります。私としては良く続いたと思います。これも、会員の皆様の御協力のおかげです。ありがとうございました。5口申請いたします。

●岩崎哲朗会員(50口)

1981年(昭和56年)5月に大分東RCに入会し、本年6月末をもって、退会することになりました(弁護士法人アゴラの社員弁護士である中山陽介弁護士が7月1日から会員となります)。

私は、42年間、大分東RCに在籍したことになりますが、 多くの皆様と親しくお付き合いいただいたことに感謝します。 今年度の最終例会で、卓話の時間までとっていただきました。 感謝を込めて50口申告します。

●安藤暢啓会員(3口)

皆様のご協力でこの一年間幹事を無事に務める事が出来ました。

心より感謝を申し上げ、3口申告致します。

●二宮吉男名誉会員(4.5口)

本日、久しぶりの例会です。

岩崎先生の卓話を聞きにまいりました。よろしくお願いしま す。

●園田浩二郎会員(5口)

先日は送別会を催して頂き有難うございました。いよいよ本日の例会をもって退会の運びとなりました。4年間、誠に有難うございました。充実した日々を過ごすことができました。心より感謝申し上げます。どうぞ会員を増強して頂き、ますますご盛況にならん事をお祈りしております。後任はテレビ大分代表取締役社長の池辺強です。

中々の好人物です。引き続きご愛顧の程宜しくお願い申し上

げます。

謹んで5口提供させて頂きます。 ここまで本当に御世話になりました。

●西島世晃名誉会員(5口)

西島世晃の妻でございます。主人は喉の癌の為、4月21日 に気管切開をして声が出ませんので、私が代読致します。

岩崎先生が退会されるとのことで、是非ともお会いしたいと 思い本日出席いたしました。

二宮先生と岩崎先生の紹介で10年前に入会しまして、大変 感謝しています。

闘病生活が続きなかなか出席出来ず、ご無礼しています。お 許しください。

会員の皆様に感謝を込めてニコボックス致します。

●木許一夫会員(5口)

「人生はいくつもの偶然を潜り抜ける旅」と言いますが、本 当に偶然に大分東ロータリークラブに入会し、ちょうど丸8年 の間、皆様には大変お世話になりました。

「運命を楽しむ」と言うか、たくさんの経験をして、「人生を 深める」ことができました。

大分東ロータリークラブの今後益々のご繁栄とメンバーの皆様のご健勝を祈念しまして、ニコボックスを5口申告します。 メンバーの皆さんありがとうございました。

●服部 剛会員(5口)

まさかの1年半で大分を離れることになりました。皆さまの 優しさに心より感謝しています。

60周年記念植樹と式典、クリスマス例会、多様な卓話、夜の例会はじめ楽しいことばかり。登山部では、由見部長のご尽力で霊山や鹿鳴越連山にも行くことができました。

ゴルフは2回参加し、ブービーと敢闘賞で、リベンジできないのが残念ですが、賞金が皆さんより多かった分も含めて、5口申請いたします。

特報版

● 7月のプログラム 7月13日(木) 阿部会員の卓話

7月20日(木) 休会

7月27日(木) 夜の例会

● 8月のプログラム 8月 4日(金) ガバナー公式訪問

8月10日(木) 休会

職業奉仕スピーチ

7月6日 佐藤 佳郁 7月13日 平岩禎一郎 7月27日 織部 和宏 8月17日 角山 光邦

大分東ロータリークラブの魅力 -職業奉仕の理念について-

岩崎 哲朗会員

1 大分東RCに入会して42年になります。

河野浩先生と木下敬之助さんが紹介会員でした。

弁護士の業務は、各界・各層の様々な方々と交わります。 私が弁護士になったのは、人に興味があり、人好きだったからだと思います。

河野先生からは、「①弁護士の財産は信用である。②信用を得るのは、個々の事件・事案に真摯に取り組む以外にはない。③信用は立派な木々が年輪を重ねるように、徐々にできあがるのであり、他の方法はない。ただし、信用を失うのは一晩でも可能である。」と教えていただきました。

これまで、弁護士としてなんとかやってこれたのは、この 教えがあったからだと思います。

河野先生は、「RCの精神は職業奉仕に尽きる。弁護士業務をきちんと行うことがそのまま職業奉仕であり、社会奉仕でもある。」と言われていました。

私の職業奉仕についての考え方は、この河野先生の考え方 を引き継いだものです。

2 大分東RCでは、多くの先輩方や友だちに恵まれました。 個々の方々との思い出は語り尽くせないほどありますが、今 日の卓話では割愛させていただきます。

大分東RCの方々は、皆さん謙虚でありながら闊達で、フランクにお付き合いをさせていただくことができるメンバーでした。また、それぞれの仕事・業務には全力で取り組んでおられましたが、一方で、心から様々な遊びができる方々でもありました。

このようなメンバーの個性は、大分東RC会員のクラブ奉 仕活動(交流)において、互いに対等な立場でありながら、 先輩が後輩をかわいがってくれるという良い伝統として現在 も引き継がれています。

- 3 職業奉仕はRCの基本的な哲学です。
 - 前提としては、次のような考え方に立っています。
 - ①職業に貴賎はない
 - 品位ある業務は全て尊重されるべきである(定款6条)
 - ②各自の職業・業務をきちんと行うこと 事業及び専門職務の道徳的水準を高めること 商道徳を守ること
 - ③職業奉仕は、すなわち社会奉仕である コミュニティの人々の生活の質を高めるもの(定款6条)

久しぶりに名誉会員もそろってポーズ!

職業奉仕、社会奉仕に関して、RCでは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる (One Profits Most Who Serves Best)」という理念が語られています。

この言葉は、RCの公式標語(ボランティア奉仕の哲学) となっていますので、ロータリアンは聞く機会が多いと思い ます。

4 「最も奉仕する者が最も報われる」という理念について この理念を言い換えれば、「最も奉仕する者」というのは、 「徳を積もうとする者」と考えれば良いでしょう。「最も報 われる者」は、「最も幸福な者」と言い換えることも可能です。

つまり、「最も奉仕する者が最も報われる」という理念は、 「徳と幸福の一致」を述べているのです。

しかし、自然法則 (理性の世界)で考えると、「徳を積む こと:最も奉仕をすること」が「幸福:最も報われる者」に なるということを導くことはできません。

「徳と幸福の一致」は、倫理学では「最高善」の姿(倫理学の理想の姿)とされており、原因としての「徳」が結果としての「幸福」と結びつくべきであるとの考え方を示しています。

RCは、弁護士と事業者が創設しました。彼らは、基本的には、実証主義的考え方をする人たちの集まりであり、現実主義者であると同時に楽観主義者でもあります。

ロータリアンは、職業奉仕、社会奉仕を行うことと「人は 幸福を求めるのは当然である」ということが矛盾なく成立す べきであるという立場を取っているのです。

仕事(業務・商売・活動)をきちんとすることは、道徳的 義務を果たすことであり、これによりよい社会ができ、ひい てはそこに所属する各人(ロータリアン)の幸福が実現す る。地域が幸福であることから、社会の一員としての幸福が あり、しかもその社会の歯車として機能しているという自己 承認がもたらす幸福感を持てると考えているのです。

5 西欧のある哲学者は、可想界を想定し、最高善(最も奉仕 する者が最も報われる)の考え方は、現実の世界では理性的 にはあり得ないが、可想界では要請されると述べています。

幸福論では、経験的原理が基礎をなすとし、例えば、自分の利益のために軽い商売上の誤魔化し(嘘)をついて良さそうなとき、私たちは、「ふと自分を恥じる気持ちからそれを思いとどまったりする」ことがよくあることが紹介されてい



岩崎会員ヘクラブより記念品贈呈

ます。

つまり、誠実な心の持ち主なら、その都度、直ちに自分の嘘を良くないものとして識別することができるとするのですが、これは、可想界での要請によるものであるというのです。

そして、人が道徳的行動をとる根拠として、可想界では「人には自由意志がある」こと、「自分の良心から見て軽蔑される存在になりたくない」という願いがあるとしています。

また、キリスト教社会では創造主を前提とし、「道徳的努力に準じた救済という希望があるべき」という理念から、 最高善の考え方が導かれています。 6 大分東RCの会員は、皆さんが各自の職業について、プライドを持っています。

会員は、それぞれの立場で、おおらかにかつ自由に経営 等に取り組んでおり、その中で自らの良心に従って行動さ れていることがよく分かります。

その生き方には、迷いがなく、確信を持った生活となっています。このような大分東RCの活発なクラブ奉仕活動で多くの会員と交わる中で職業奉仕の精神を日常的に実感してきました。

大分東RCを退会するにあたり、これまでご厚情をいた だいた多くの方々に心から感謝します。

家庭集会の開催報告

日時:6月24日 18:30~20:30

場所:ながさきや

出席者:城内会員、由見会員、佐藤純也会員、木許会員、

松本会員、大西会員

「テーマ:5年後の東RCについて|

<由見会員>

・このテーマは自分が決めた。ロータリーは入ったら楽しいと言ってくれる人が多いが、【偉い人が多くて面倒、いろいろやらされる。】との印象があり、ハードルが高い。このままでは入る人がいなくなってしまうことに危機感がある。

<城内会員>

- ・5年後は今までと同じではないだろう。人口同様に会社の数も減っていく。
- ・30名は割ってしまうと思う、合併というもの選択肢になる。

<由見会員>

- ・市町村と同様、それぞれの特色や人間関係があり合併 は難しい。解散して、行きたい人は他のクラブにいく ということになるのでは。
- ・東のフレンドリーな文化は大切にしたい。

<松本会員>

- ・大手企業にとって、コスト相応のメリットが見えづらい。入らないケースも増えている。
- ・そのうえ大分の拠点も福岡にまとまってきているため、支店長クラスは減っていく傾向。

<城内会員>

- ・人生の幅が広がっていくというメリットはロータリー が最高だろう。
- ・仕事を融通し合うということよりも大切。

< 木許会員>

- ・誰でも入会させればいいわけではない。出てもでなく ても一緒のような人がふえても雰囲気がわるくなるだ け。東ロータリーに相応しい人に入ってほしい。
- ・過去には入ってからいろいろあった人もいた。

【まとめ】

- ・これからも、東ロータリーの特徴である、友好的でい ざという時の団結力のある文化を大切にしていきたい。
- ・そのためにも東ロータリーの風土にあった人に声をかけて、品を落とすことなく会員増強に取り組んでいく ことが大切。

報告者 大西 章泰

ロータリーソング 奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ 御国に捧げん我等の生業 望むは世界の久遠の平和 めぐる歯車いや輝きて 永久に栄えよ我等のロータリー 国際ロータリー第2720地区 大分東ロータリークラブ

創 立 昭和38年3月6日

例 会 日 木曜日・12時30分

例 会 場 トキハ会館4F「つばきの間」

会 長菅 雅幸

幹 事 安藤 暢啓

事務所 〒870-0021

大分市府内町1-2-15 (トキハ会館4F)

TEL532-0611 FAX532-8386

ホームページ http://www.higashi-rc.com/ メールアドレス oitahigashirc@mist.ocn.ne.jp